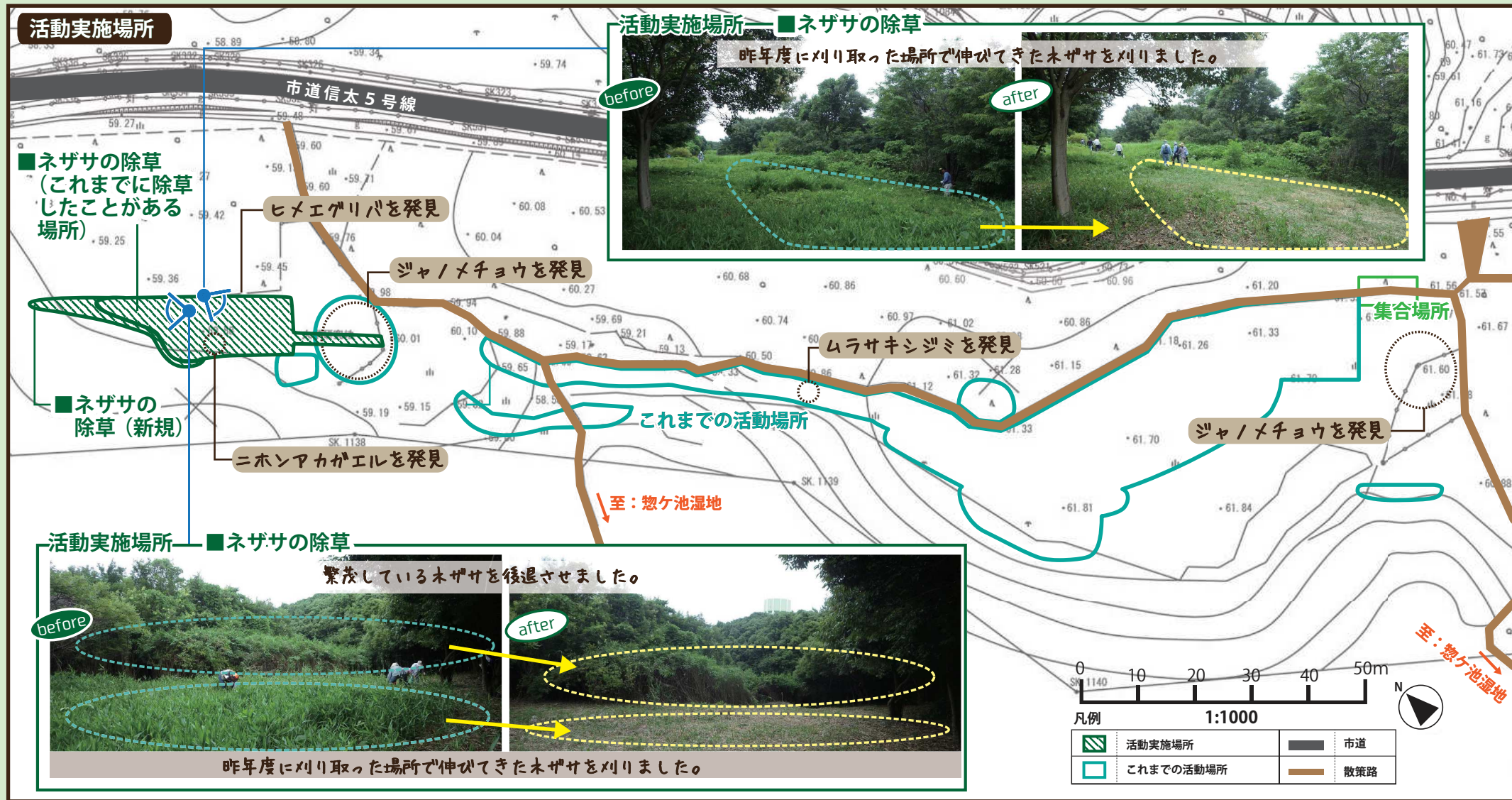


# 保全活動日記 vol.12 2017年7月9日(日)

## ● 保全活動実施報告

- 参加人数：66名（保全活動組 27名、里山講座組 39名）
- 実施日：2017年7月9日(日)
- 時間：9時00分～12時00分
- 天気：くもり
- 活動内容：南西側草原エリアで、二次草原を回復するための除草を行いました。また、同時に「信太山里山講座」が開催され、参加者が保全活動の見学と体験を行いました。



## ④ 今回の大発見！

ニホンアカガエルは、「キョッキョッキョッ…」という声で鳴きます。また、湿った草原等の地表で採食するそうです。



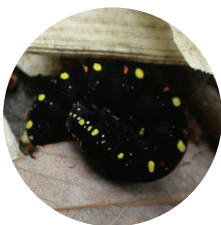
ニホンアカガエル

ムラサキシジミの幼虫は身体から甘い物質を分泌し、その分泌物を食べたアリは巣に戻らずムラサキシジミの幼虫の周囲に留まり、他の虫から幼虫を守るようになるそうです。



ムラサキシジミ

ヒメエグリバは蛾の一種です。成虫になると、褐色で枯葉にそっくりの姿になるそうです。



ヒメエグリバ

＼信太山は貴重な昆虫が生息できる環境！

ジャノメチョウは主に山間部に生息する昆虫です。また、山間部においてもあまり頻繁に見ることは無いそうですが、ここ信太山ではたくさん飛んでいる姿を見ることができます。



ジャノメチョウ

## ④ 葉っぱ遊びシリーズ

これまでも活動日記で葉っぱ遊びを紹介してきました。いつも参加者の本藤さんが、周りに生えている葉っぱをささっと丸めて何かを作ってくれます。さて、今回はどんな作品が出来上がったのでしょうか。



目をつけると…、  
かわいい鳥だ！



平成29年度

## ④ 「信太山里山講座」第1回の開催！

保全活動と同時に「信太山里山講座」が開催されました。これは全5回の講座を通して一緒に公園づくりを行うパートナーを募集するものです。今回は、藤原宣夫氏（大阪府立大学教授）による講座「公園としての信太山丘陵市有地のテーマ・理念を共有する」が行われました。その後、現場での実践演習として三輪健一郎氏（NPO法人いずみの国自然館クラブ）による講座「公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ」が、保全活動の実施場所で行われました。器具や機械の安全な使い方を説明された後、参加者が実際に刈払機を使う体験を行いました。参加者は慣れない機械に手こずりながらも真剣に取り組んでいました。



## ④ 活動後のふりかえり

活動の感想や今後の意見が挙がりました。



外来種であるムラクモカレハの幼虫がたくさん発生しているので、トゲに触れないよう気をつけよう。しかし、一方でジャノメチョウ等の在来種もたくさん生息していることを覚えておいて欲しい。

活動では、季節毎に出会える昆虫や植物などを見て楽しみながら参加しよう。